

常磐文藝

五月雨

明愛

◇五月雨煙りて咲きぬあやめ草のあなたに人の傘かしげゆく  
◇池の面に小さき園を畫く雨の大きき増していよいよ降りけり  
◇五月雨のそよぐ孟宗の竹籾に雀とび来て小枝のゆりつゝ  
◇たか枝に雀群れなくその下に窺われる唐歌の音

松村病院

平町南町電話一〇七番

高久病院

平町田町電話五一三番

内科・外科・花柳病科  
耳鼻咽喉科・婦人科  
赤心堂病院  
平町田町電話四七五番

向夏眞

友染モスリン  
夏衣 着尺

◇澤山入荷致しました  
御来店御用命をお願申す

大モスリン店  
平町三丁目

召し上れ

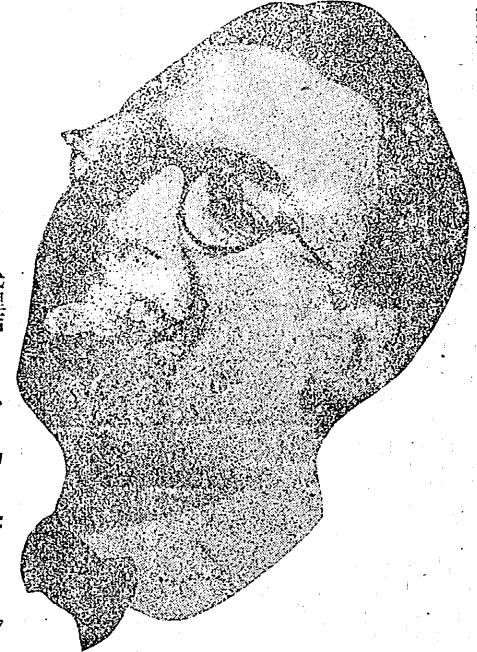
安くておいしい

マツモトヤのビスケット

百均特價金二十銭

滋養 カルミン 明治製菓會社

平町四丁目  
ヤトモツマ  
電話一四二番



代理店 マツモトヤ

齒科

平町土橋通り  
原齒科醫院  
電話卅一番

親  
美術 諸看板  
硝子 金銀文字  
建築 ペンキ塗  
其他 各種  
迅速

大音堂

平町四丁目

齒科 森合齒科醫院

外科内科  
産婦人科  
花柳病科

平町鎌田町

金成醫院  
電話三五八番



刊夕日二十二月六

定部金貳錢 廣五號十二休  
郵税五厘 告字詰一行 刊日  
料五十錢 日祝日  
印刷所 福島縣石城郡平町長橋町五番地

發行編輯人 川崎文治  
印刷所 福島縣石城郡平町長橋町五番地  
電話 常磐毎日新聞社

病床寸言 (七)

川崎文治

斯ふして有難い事には讀者の數も予想以上に達した此勢ひを取り逃がすなど連日連夜の奮闘は、今考へてもヨク其當時体が續いたものと思はれる

何んとしてもタツタ一人での仕事である、其爲め苦勞も多しと同時に「俺の體が資本だ」と云ふ強烈な責任觀念が朝夕頭腦の中にひらめいて居たから遣つてのける仕事の張り合へも違つ

好イ店  
良品ヲ安ク賣ル  
クースーリ  
クースーリ  
關内藥舖  
藥劑師 關内栄助  
電話四〇番

開店御披露  
今回精米業を開業し米穀類の御求めに應ずる事となりましたから是非御引立を願上ます  
平町長橋町卅七番地  
合関内精米所  
店主 關内信二郎  
電話(呼一六〇番)

鐵道省 御指定 仙台高等工業學校 試驗證明  
萬幸瓦  
萬年瓦工業株式會社  
福島縣四會町  
電話三八番

小僧さん入用  
喰べてほしい  
遠藤パン  
有聲座隣

今でもそうだが一枚の原稿紙でさい表のみでなく裏迄使ふと云つた調子で總べてに當る眞剣味を失なはなかつたからさうにかこうにか繰り廻しがついて來たものである

是れが何人から特種な應援を受けてとか或ひは何政黨の提灯を持つてとか云ふ様な一種歴はれる的頭であつたことら到底今迄の苦難を堪へ忍ぶ事は出来なかつたであらうと思ふ

だから久野君の心情にも

多少同情せずんば止まざる點ありとしても最初から石城憲派の力を依頼し切つて新聞の製作に従事しやうとした出發點に誤りがあつたのではないかと云ふ様な事が山田自由人の原稿を讀みながら考へさせられた (續く)

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由讀める川崎文庫 (申込次第規則書進呈)

### 傳染病を未前に防ぐ 細菌検査處の設備

#### 平町では近く 取り敢えず治療院内に であらう云々

平町に細菌検査所の設置されることは本年度の豫算に計上され近くこれが開始の運びとなるが右に就て當局者は「場所としても何處と決定したわけでもないが平治療院内にでも置くより外あるまいと思はれるそれにしても現在の治療院内は殆んど手隘となつてゐるから適當の方法によつて増築でもするより外ない

**醫師の 任命**これは縣の方で相當心配してゐることと思ふが今日ではあまり安んじ給ては來るものもあるまいし細菌研究の經驗ある者と思はれる管轄も難であると思はれる管轄も

### 磐城高女で 地久節當日 記念大會開く

平町警城高等女學校にては來る六月二十五日の地久節當日同校講堂に於て式典を舉行し終つて祝賀紀念のバレーボール大會を催すと

### 戸數割町會 全議員が委員

平町會は二十一日午前九時より召集出席議員三十名伏見町長議長席に着き協議したが議案は左の如し

- 一、大正十四年度前期縣稅戸數割賦課額決定の件 (縣稅二萬七千七百四十二圓)
- 二、町稅戸數割附加稅課率變更の件
- 三、寄附金採納の件 (金百圓平町四丁目星野庸治金二十圓平町鎌田町齋田清一郎)
- 四、寄附物件採納の件 (無線電話の模型とその應用一冊大正式顯微鏡一臺新案簿記簿一本新案不思議挾一挺東京市野村莊一議挾一挺)



家庭庭欄

### 風味佳い鯛の粕漬

新鮮な鯛の鱗をはき、頭から尾まで背割して中骨をと

因に縣稅戸數割賦課額決定については同町を各區に分ち全議員を委員として二十四日まで委員會を開くことに決定して散會した

### 磐炭株主總會 石城

### 縣下中等學校の 体育大會を平町に 開き度い希望

#### 大運動場のないのが遺憾 開き度い希望

第三回縣下中等學校体育大會は九月十三、四日頃開催される筈であるが一昨年は福島において催された關係山において開催された關係山今年には是非平町において催したいとの意嚮教師間にありなほ寄宿舎も八月末日までには完成することなれば落成祝賀の意を兼ねて平町が適當であると某有志は語つてゐるが平町には遺憾ながら大きなグラウンドの設備なく或は他郡に奪取されるのではないかと心配されてゐるが學校當局においても是非本年は平町において開催したいものであるといさまいてゐる

### 不足で大弱 補充策に苦心

石城郡内に於ける稲作の植付は目下盛りであるが天候不良の爲め發育不良と種糶の選定が悪かつた爲め發育後に倒枯するもの中折れするものが多いので各村共に苗不足に苦しめられて居るが殊に四倉町の如きは極度の不足を告げ所有反別の半分すらないので石城郡農家にては狼狽し補充策について腐心してゐるが愈々草野高久神谷の三村から不足苗を補充することを斡旋することに決定野村技師は打合り、えら臟腑などを取去つて町嚙に洗つたもの一貫匁に對し鹽百五十目位の場合で底に穴のある樽か、桶に鹽漬とし、軽く壓をして三日間漬けておきますその間浸出する水分は皆底の孔から排除してしまはないと魚体が軟くなつて製品の保が悪しくなります。鹽漬を以つて武道奨勵會を組織し菊地傳一郎氏を會長に推薦した

せの爲廿一日同地に出張した  
火あぶりの  
孫娘遂に死す  
死体は解剖に

平町字立町大正の鬼婆こと吉田きくは孫娘あきを火中に投げ焼き殺さんとしたがその目的を達せずあきは其後平醫院遠藤醫師の手當を受けつゝあつたが何分腰部の火傷甚だしいので二十日午前八時遂に死亡したが二十一日平警察署が場ら林部長川上刑事に羽岡醫師と共に現場に出張平醫院に於て羽岡警察醫執刀の下に死体を解剖に附したが腰部が殆んど皮膚をすかして内部に火傷が入り眼も當られぬほどであつた

### 演藝だより

●聚樂館 女義界の人氣もの竹本組春今晚の藝物は三勝半七酒屋の段、重の井子分れである

●平館 松田館主初老の祝賀の謝恩興行中にて純益金は警女修學旅行の遭難生徒に慰安金として贈呈の由が終つたものは別桶に鮭と同じ様にして酒粕で漬込ます。粕は生のまゝ一貫匁に百匁位の鹽をまぜよく練り合せたものの中へ漬込めば早く出来上りますが保ちはよくありません。保ちをよくするには原料を少し日光で乾してから漬込めば風味は前のよりもよしいです

## 懸賞

(問題)——今晚有聲座の辯士が映畫の説明の中に「常警毎日新聞」と申しますかそれはドノ映畫の説明の際にタレ辯士が申しますか?

お解りの方はへがきで「平町長橋町常警毎日新聞」に知らせ下さい、當つた方には抽籤で特賞一名外五名に賞品を呈します、尙其氏名は廿七日の夕刊に發表します

### 平第二は 臨海學校中止

#### 結果が悪い

平町第二小學校では一昨年初回の試みとして勿來海岸に夏期臨海學校を開催したが昨年は都合あつて中止したが志望者をもと多くは

### 千葉式講習 講師堀内技手

石城郡養蠶同業組合主催千葉式農法講習會は講師石城郡農林技手堀内敏氏に依り左記日割に開催する事に決定した

- △六月二十六日神谷村農事試験場桑園△二十七日上遠野村△二十八日大浦村細谷芳賀保三郎氏桑園△二十九日植田町△三十日磐崎村

### 兔の耳

臺灣一の子福長者十八日臺北橋の開通式に渡初めをやつた臺北州新莊街の舊家遊娘來(六)氏の一家は臺灣一の子福長者と稱せられ目下同じ家に兄弟夫婦など合せて男六十名女五十八名といふ大家族が僅んで

### 平町人事

- ▲出生  
△研町一九 山田信次氏長男信夫  
△材木町二八 辻金太郎氏二男守次  
△一丁目二三 當時横濱市中村町字唐澤八遠藤孝之氏長女澄子  
△仲間町七二 新妻三治氏三女かつ  
△杉平二〇 富田重廣氏次女茂子
- ▲婚姻  
△双葉郡上真坂町大字真坂三三八 桐木伴實人本田善一郎氏(三八)  
△研町一二 女裝結鈴木ま(三三)  
△立町九〇 阿部平吉(一七)  
△材木町三五 酒井マツヨ(一七)
- ▲死亡